陶芸ワークショップ「ラマダン・ファヌース(灯篭)を作ってみよう!」

8月7日(日) 川越市立美術館

ご家族、友人の皆さんとともに美術館にやってきた講師のサミール・ラ ビーブさん(陶芸家・在エジプト)の、エジプトのお話からワークショップが 始まりました。これから作る「ラマダン・ファヌース」がイスラムのお祭りの中 で、どのように使われているのかを映像で見せていただいて制作開始で す。ファヌースは、サミールさんがあらかじめ外形を形作って下さったもの に、参加者が思い思いに星や月の形等をくり抜き、色をつけます。その間 にサミールさんに助けられながら轆轤引きで受皿を作りました。陶土に初 めて触れる参加者がほとんどでしたので、好奇心旺盛な子どもたちにとっ て、この夏休みの特別な体験になったようです。

番外編:大人の参加者・スタッフと、付き添いのお父さんお母さんが ヒートアップ。みんな汗だくで楽しんでいましたよ!(参加者:33名+父兄=40名



エジプトの食と文化展&講演・交流会

8月20日(土)~26日(金) 8月20日(土)交流会 三番町ギャラリー

初日の交流会は、激しい雨の中、開催しました。

今年度のあなたとどこでもアート/おかわりプロジェクトは、「食」を テーマにしています。アラブバイオリンの演奏があり、サミールさんのエジプ トとラマダンなどのお話しのあと、エジプトのお料理が到着しました。ハラー ルです。参加してくださったみなさんは、ラマダン明けのように、楽しい食事 タイムを楽しみました。ワークショップに参加してくださった親子さん、ワーク ショップで通訳やアラブ文字などの手助けをしてくださったサポーターの みなさん、アルテクルブの皆さん、アラビア語・英語・日本語の飛び交う国 際的な交流会でした。何より、サミールさんの器でハラールをいただけたこ とは、うれしいことでした。

展覧会では、訪れた皆さん<mark>が彩</mark>色の鮮やなエジプトの陶器に<mark>溜め</mark>息を もらしていました。地中海のブルー、地中海に沈む太陽のオレンジ、オアシス のグリーン、黄昏時のバイオレット、いずれもエジプト・カイロの色彩でした。

ワークショップで制作したファヌース(灯篭)は、サミールさんによって焼き上 げられ、展覧会の会期中会場を<mark>彩っていました。最後には小学生の</mark>みなさ んが訪れ、大事に持って帰りました。(展覧会来場者:80名、交流会参加者:約30名)

草野律子(運営委員)







アートさんぽ「まちの記憶をたどる ビール・味噌 麦のみち」 9月14日(水) 川口市立アートギャラリーATLIA

川口では江戸後期から昭和まで、地元産の麦を使った味噌 づくりが盛んでした。また大正からおよそ80年間操業していた 「サッポロビール埼玉工場」もまちの顔のひとつでした。そんな 「麦」の食文化ゆかりの地をめぐるバスツアーを、川口の特産品 だった麦味噌を見直す活動をしている新井俊雄さん(株式会 社アライ代表取締役)、井出信男さん(社会福祉法人ごきげん らいぶ代表)、池田幸一さん(株式会社もといち代表取締役) にご案内いただきました。

出発地はビール工場跡地に建てられたATLIA周辺です。公 園に佇む仕込み釜や原料を運んだ線路の跡などにかつての面 影を見出しました。次に訪ねた福祉施設「社会福祉法人ごきげ んらいぶ」では施設内で製造している麦味噌を楽しく味わうミニ ワークショップを体験。更に、味噌醸造業で財を成した田中家の 本格的な洋風住宅「旧田中家住宅」や、同業を営んでいた「もと いいち(現:株式会社もといち)」の工場跡も見学し、歴史ある建 物とともに大切に守り伝えられているまちの記憶を振り返りました。

川口の味わい深い文化に触れ、参加者から「今まで以上に 郷土への想いが深まりそう」との嬉しい感想をいただきました。 また実施に際しては3人の講師のほか、そのご家族や企業の 方々、施設職員と利用者の方々にもご尽力いただき、埋もれつ つある過去と現代を多くの人の手でつなげる貴重な機会となり ました。(参加者:20名)

多世代交流ワークショップ

小野寺茜(運営委員





世代を超えた交流を目的とした「多世代交流ワークショップ」 は、今年で8年目となります。様々な美術活動に精通する小池 ちかこさん(美術活動家・臨床美術士)を講師に迎え、今回は 「食」をテーマに、コックさんに扮し、調理になぞらえながら制作 を行いました。参加者は、初めに「レシピ」として、材料や用具、 活動内容の説明を受けました。次に、自己紹介をした後、「身 支度」として、参加者同士でカラフルに模様を付け合ったオリジ ナルのコック帽を被り、気分を盛り上げました。「下ごしらえ」とし て、1枚のプラスチック段ボールに互いのシルエットを写し取り、 「調理」として、偶然できた形をもとにオイルパステルで彩色して 制作を行いました。さらに「盛り付け」として、色とりどりのプラス チック段ボールを組み合わせ、長いトンネルを作り、「いただきま す」の合図で、トンネルに入って遊びながら、楽しく鑑賞しまし た。最後に「おかわり」では、トンネルをライトアップし、幻想的な 美しさを味わいました。参加者は、多世代交流を通して、世代 を超えた互いの表現のよさやおもしろさを感じながら、全身で 表現活動を楽しんでいました。(参加者:2回計36組72名)

脇元重彰(運営委員)

